

くまびょう

110号

NEWS

くまびょう
NEWS2006年
8月1日

[発行所]

国立病院機構熊本医療センター
(前 国立熊本病院)

〒860-0008

熊本市二の丸1番5号

TEL (096) 353-6501代

FAX (096) 325-2519

平成18年度
第1回(通算第21回) 開放型病院運営協議会開催される

福田稔委員長のご挨拶

平成18年度第1回(通算21回)の国立病院機構熊本医療センター開放型病院運営協議会が平成18年7月12日(水)午後7時より地域医療研修センター会議室にて開催されました。医師会からは熊本市医師会会長で当開放型病院運営協議会委員長の福田稔先生、熊本市

医師会理事の田中英一委員、新たに委員になられた清田武俊先生、竹下一幸先生にご出席頂きました。当院からは委員4名と事務部、看護部より出席しました。

まず院長が日頃よりご指導頂いている医師会長はじめ医師会委員の先生方にお礼を述べ、病院の現状を報告致しました。続いて福田委員長より診療点数改定、医療制度改革などで医療経済が厳しくなる中、医療連携こそがこの困難な時期を乗り越える本道であるとのご挨拶を頂きました。

議事では、事務局より、登録医数、最近の訪問医師数、訪問回数、共同指導算定実績、「くまびょうニュー

ス」の発行状況、第20回開放型病院連絡会(平成18年2月13日)の出席者数などが報告され、訪問されても共同指導算定をされない先生方の数を把握するようご指摘がありました。

ついで第21回開放型病院連絡会の開催について協議され、平成18年9月11日(月)午後7時よりくまもと県民交流館パレアで開催することが決定しました。内容は、パレアホールでの総会で福田運営協議会会長のご挨拶、症例呈示、登録医の先生方に意見を述べて頂く「パネルディスカッション」を行い、その後、会場を鶴屋ホールに移して懇親会を行うことをご承認頂きました。当初午後6時30分開始と計画していましたが、開業の先生方には早すぎるとの意見があり午後7時開始となりました。パネルディスカッションは「病診・病々連携」を中心にディスカッションして頂くことになりました。

多数の先生方に開放型病院連絡会にご参加頂きますようお願い致します。

これからも病診・病々連携を推進し、地域医療に貢献できるように努めてまいります。今後とも宜しくご指導賜りますようお願い申し上げます。

(副院長 池井 聰)

第21回 国立病院機構熊本医療センター開放型病院連絡会開催のお知らせ

第21回国立病院機構熊本医療センター開放型病院連絡会が下記の要領で開催されます。多数の御参加をお待ち致します。

- | | |
|-----|--|
| 日 時 | 平成18年9月11日(月) 19時~21時 |
| 場 所 | 〒860-8554 熊本市手取本町8-9 テトリア熊本ビル くまもと県民交流館パレア
TEL 096-355-4300(代) |
| 内 容 | 1. 開放型病院連絡会総会(10階 パレアホール)
1) 紹介症例の呈示 2) パネルディスカッション「病診・病々連携の在り方」
2. 懇親会(7階 鶴屋ホール) 懇親会の会費5,000円は、当日受付で申し受けます。 |

なお、当日会場にて新規登録医の申請もできます。登録医証(裏面2ページを参照下さい。)の発行をご希望の先生は、会場で写真撮影を実施させて頂きます。また、施設見学(MRI、マルチCT、ガンマカメラ、心血管造影室、その他)をご希望の先生は、18時30分までに病院玄関にお集まり願います。見学終了後、タクシーにて連絡会場までご案内致します。なお、お車でご出席される先生方は、当院専用駐車場(城内プール跡地)もご利用できます。その場合、必ず駐車券を会場にお持ち下さるようお願い致します。

【参加申込先】 国立病院機構熊本医療センター管理課(担当:西田、上園)
〒860-0008 熊本市二の丸1-5 TEL 096-353-6501(内線390)



「開業医の強い味方」

医法) 社団仁風会

比企病院

院長 比 企 裕



6月始めに一通の手紙が届き、開けてみると「くまびょうニュース」の執筆依頼でした。

どうして自分に依頼が来るのか、間違いではないかと思いましたが、何を書いてもいいと書いてありましたので、断る理由もなく、勝手気ままに書くことにしました。

そういえば、私が当時国立熊本病院で働いていたのは、もう8年程前のことです。

当時の先輩の先生方やスタッフの事を懐かし

く思い出しました。

しかし、現在の国立病院機構熊本医療センター(以下国立)との関係は、「いつも大変お世話になっております。先ほどお電話にてご相談申し上げた患者さんについて…。この度は無理なお願いを聞き入れて頂き大変有難うございます。」とこちらからのお願いばかりです。我々開業医は、慢性疾患を持つ高齢の患者さんを多く受け持っておりますが、急性炎症性疾患が発生したとき、高次医療機関病院に受け入れてもらうのがなかなか難しいのが現状です。

そんな中、国立は素早い対応で引き受けてもらえ大変感謝しています。

先日、久しぶりに国立を訪れましたが、さすがに私が働いていた当時を知ってるスタッフは一人もいませんでした。

当時は、暗くて何となく古い感じの病院でしたが、すっかりきれいで明るくなっており、もうすぐ電子カルテに用いられるのであろうディスプレイがナースステーションに並んでいる姿を見て、着実に進化しているなど感心してしまいました。

今後さらに国立が発展することを願いつつも、今までと同様、我々開業医が安心して医療を行える強い味方で在り続けて頂きたいと思います。

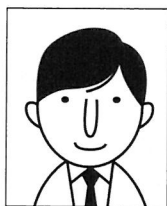
国立病院機構熊本医療センター開放型病院登録医証の発行について

登録医証は、共同指導の際に名札としてご利用頂けます。発行をご希望の先生は、管理課庶務係(TEL 096-353-6501 内線390)までお申し込み下さいますようお願い致します。

写真は時間内であれば当院内で撮影できますし、縦4cm×横3cmで顔全体が写っているものをお持ち頂いても結構です。

また、駐車場については、玄関前駐車場ゲートにて駐車券をお取り頂き、0番窓口(時間内)又は、時間外受付(時間外)にお申し出頂ければ、無料の手続きを致します。

開放型病院登録医証



〇〇〇 医師会
熊 本 太 郎

平成18年1月1日交付
国立病院機構熊本医療センター

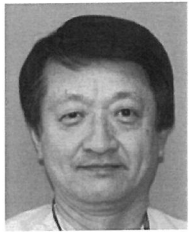
1. 国立病院機構熊本医療センターで診療を行う場合は、この証を持参し名札として着用下さい。
2. 駐車場を利用される場合は、この証を駐車場入口で提示して下さい。
3. この証の記載事項に変更があったときは速やかに届け出て下さい。
4. この証の有効期限は3年間と致します。

2006

診療科紹介(2)

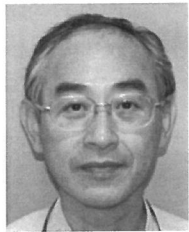
総合医療センター(2)

血液・膠原病科



河野 文夫

内科一般、白血病、リンパ腫、貧血、出血傾向、膠原病
 日本内科学会指導医
 日本内科学会認定医
 日本血液学会指導医
 日本血液学会専門医
 日本臨床腫瘍学会暫定指導医
 インфекションコントロールドクター
 外国人医師臨床修練指導医
 熊本大学医学部臨床教授
 エジプトスエズ運河大学医学部客員教授



清川 哲志

内科一般、白血病、リンパ腫、貧血、膠原病、移植医療
 日本内科学会指導医
 外国人医師臨床修練指導医
 熊本大学医学部臨床教授



日高 道弘

内科一般、白血病、リンパ腫、貧血、膠原病、移植医療
 日本内科学会指導医
 日本内科学会専門医
 日本血液学会指導医
 日本血液学会専門医
 外国人医師臨床修練指導医



塚本 敦子

内科一般、白血病、リンパ腫、貧血、膠原病
 日本内科学会指導医
 日本内科学会専門医
 日本血液学会指導医
 日本血液学会専門医



長倉 祥一

内科一般、白血病、リンパ腫、貧血、膠原病、移植医療、後天性免疫不全症(AIDS)



武本 重毅

内科一般、白血病、リンパ腫、貧血、膠原病、移植医療
 日本内科学会認定医



榮 達智

内科一般、白血病、リンパ腫、貧血、膠原病、移植医療
 日本内科学会認定医

新任職員紹介



感覚器センター

耳鼻咽喉科

は ば こう いち
羽 馬 宏 一

7月より、前任の小山田の代わりに参りました羽馬宏一と申します。横浜出身ですが、大学より熊本にやってきて14年目です。耳鼻科の同期が多かった

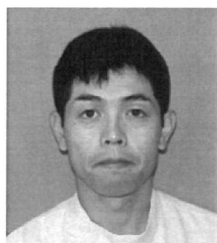
ためか、研修医時には一人だけ大学から出られずそのまま大学生活を送ったため、今回が初めての大学病院以外での仕事となります。手術等自分で行う機会が増え、また治療の決定に対する自由も大きくなりやりがいをより強く感じますが、悪性腫瘍疾患が予想外に多い印象で、またはっきりなしにやってくる救急車を見ては不安を募らせているところでもあります。

何かとご迷惑をお掛けすることかと思いますが、よろしく願います。

最近のトピックス

早期胃癌に対する 内視鏡的粘膜下層剥離術

～Endoscopic submucosal dissection:ESD～



消化器病センター

消化器科

押方 慎弥

はじめに

早期胃癌の内視鏡治療として内視鏡的粘膜切除術 (Endoscopic mucosal resection: EMR) が施行されるようになって20年以上が経過しますが、その間EMR手技の改良・進歩に伴い適応も徐々に拡大されてきています。しかし、今なお早期胃癌における内視鏡治療の原則は「胃癌治療ガイドライン」にも示されている通り、リンパ節転移の可能性がほとんどなく、病変が一括切除できる大きさと部位にあることです。従来のEMRは病変を含んだ周囲粘膜を鋼線のスネアで結紮し高周波で焼灼切除する方法で、切除できる大きさに限界があり、切除面の深さも一定しないため、具体的には2 cm以下の分化型粘膜癌で、潰瘍病変(U)がないことが条件となっていました。しかし、EMR適応外の症例にも一括切除できれば内視鏡治療のみで根治の見込める症例が多数あるのも事実です。

ESDの手技と優位性

近年、こうした従来のEMRの欠点を補い、大型の一括切除を目的とした内視鏡的粘膜下層剥離術 (Endoscopic submucosal dissection: ESD) が開発され、急速なスピードで普及しています。従来のEMRと異なり、ESDは病変の周囲粘膜を全周にわたって切開し、特殊なデバイスを用いて粘膜下層を剥離、最終的に一括切除する方法で、従来のEMRでは切除不可能であったサイズ、部位の病変まで切除が可能です。また、ESDでは比較的一定の深さで粘膜下層を剥離するためU1 (+)の病変にも対応可能で、遺残・再発の減少も期待できます。

これに対し、ESDの欠点としては技術的難易度が高く修得に時間がかかること、EMRに比べ偶発症が

多いこと、治療時間がかかること、多くの処置具や薬剤が必要で費用がかかること (平成18年4月から新たに内視鏡的粘膜下層剥離術の項目が追加されはしましたが…) 等が挙げられます。

ESDの適応

先駆的施設の早期胃癌に対するESD適応病変は①分化型粘膜癌でU1 (-)の場合は大きさ無制限、②分化型粘膜癌でU1 (+)の場合は3 cm以下、となっており、当科でもこの基準を適応としています。また、③分化型微小粘膜下層浸潤癌でU1 (-)の場合は3 cm以下、④未分化型粘膜癌でU1 (-)の場合は2 cm以下、の病変も適応としている施設もあり、この適応基準は2000年に国立がんセンターの5,000例を超える早期胃癌手術例の分析から、上記の病変であればリンパ節転移がなかったとの報告が根拠となっています。

おわりに

今後更なる適応拡大が予想されるESDですが、実際適応を決めるための病変の側方進展や深達度に対する術前診断の精度はよくても80~90%で、ESD導入に当たっては術前診断の精度の向上と症例ごとの適応判断が重要になると考えます。

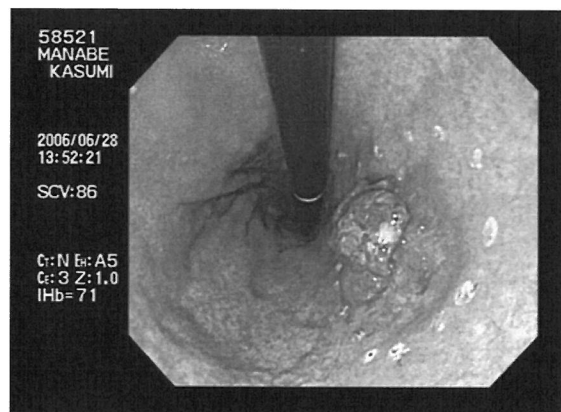


図1. 79歳女性、胃体部 I + IIc、マーキング後

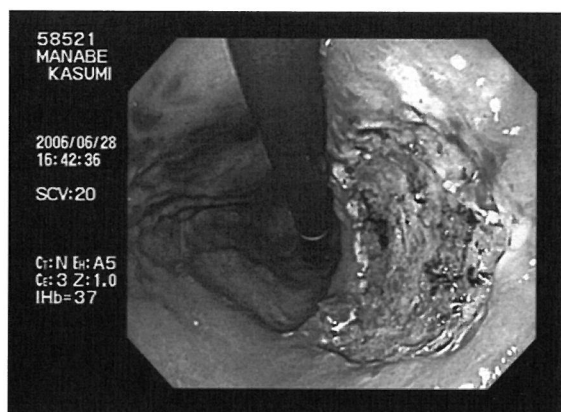


図2. ESD後

いま、国立病院機構
熊本医療センターで
何が研究されているか

シリーズ 31回

白内障とドライアイに関する検討

感覚器センター眼科医長 青木 浩則



国立病院機構熊本医療センター眼科での現在の研究テーマ、及び今後検討予定のテーマについてご紹介します。現在眼科では東京医療センターを中心とする多施設研究を2つのテーマについて行っています。一つは白内障について、もう一つはドライアイについてです。

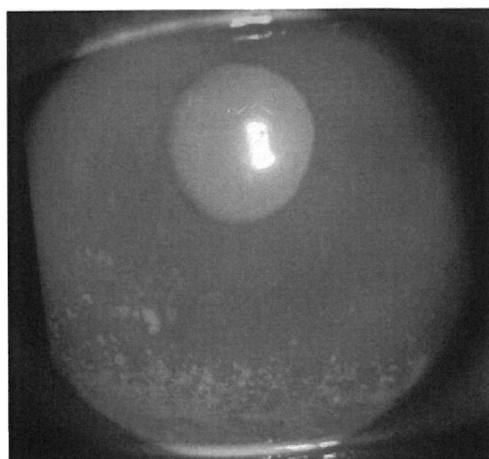
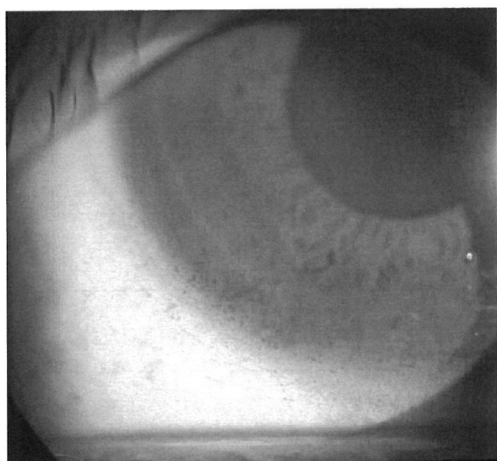
白内障についての研究は「加齢白内障における進行度・視機能の程度が患者のQOLや健康状態に与える影響、及び手術治療が及ぼす効果」に関する研究です。具体的には手術予定が無く白内障で通院中の患者様を対象として半年に一度のアンケートを行います。参加17施設の結果を集計し白内障の程度・進行度が実際の社会生活に与える影響を検討するものです。

もう一つのテーマは「中等度以上のドライアイ症候群における、治療法の選択と治療の時期に関するエビデンス作成」のための研究です。ドライアイの治療として最近ではヒアルロン酸、人工涙液、ステロイド点眼

など種々の点眼薬が用いられるようになっていきます。この研究では治療効果の判定に自覚症状の変化を取り入れてドライアイの治療法を検討します。こちらもドライアイの患者様へ半年に一度のアンケートを3年間行い点眼剤などの治療法と自覚症状の変化の関連を調査するものです。ドライアイに関しては新薬の治験にも参加しています。

また、当院では血液内科において骨髄移植が積極的に行われています。骨髄移植後のGVHD (graft versus host disease) に伴う重症ドライアイについては発症時期、治療法など不明な点が多いため症例の蓄積により臨床症状の経時変化や治療法について検討を行う予定です。

さらに、以前より検討中の糖尿病網膜症に対する早期硝子体手術に関する検討も継続して研究を行っています。



写真：ドライアイで傷ついた角膜（右はローズベンガル、左はフルオレセイン染色）

■原稿を募集致します■

登録医の先生の投稿を歓迎致します。400～800字程度を基準にお願い致します。

送付先 〒860-0008 熊本市二の丸1-5

国立病院機構熊本医療センター 『くまびょうNEWS』編集室まで

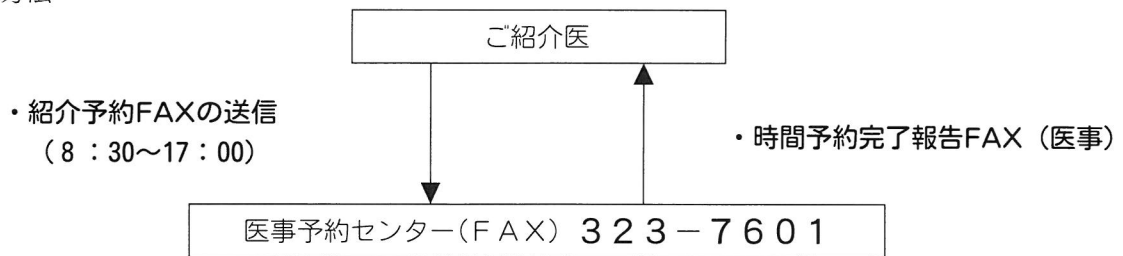
FAX紹介患者様の時間予約を開始します

当院は開放型病院として日頃から多くの患者様を御紹介を頂いております。紹介を受けた患者様は、これまでも優先的に診療を行って参りましたが、紹介患者様が重なると待ち時間が長くなることもあります。このたび待ち時間を短縮するために、FAXにて御予約頂いた患者様につきまして、受診時間の予約を行い、速やかに御紹介医にFAXにて返信するシステムを8月1日より開始します。

FAX紹介状に御希望の受診予定日を記入してお送り下されば、10~20分で希望日の時間予約を取りましてFAXにてご返信いたします。予約の時間に来院して頂ければ、長く待つことなく診察を受けることが出来ます。紹介状のみの患者様につきましても、今後も優先診療を行います。是非、FAX紹介での受診日の指定と、時間予約制度をご利用くださいますようお願いいたします。
(外来委員長 清川 哲志)

FAX紹介患者の予約方法について

- 1 開始時期 平成18年8月1日(火)
- 2 予約方法



問い合わせ先 国立病院機構熊本医療センター (代) 353-6501 内線: 248



国立病院機構熊本医療センター 宛
診療情報提供書兼紹介状
【FAX(096) 323-7601 TEL(096) 353-6501】

- 1 紹介先診療科 _____ 科 _____ 医師 _____
- 2 紹介元医(病)院名 _____
 電話番号 _____ FAX _____
- 3 受診予定日 平成 ____年 ____月 ____日(曜日) ____時 ____分頃 入院・外来
緊急性の有無(有・無)、来院方法(救急車・その他)、熊本医療センター受診歴(有・無)
- 4 受診者情報

ふりがな		保険者番号							
患者氏名	男	記号番号							
	女	保険区分	本人・家族						
生年月日	M・T・S・H 年 月 日 歳	公費番号							
勤務先及び連絡先	電話 ()	受給者番号							
	〒()								
現住所	電話 ()								
	県 市 郡 町 村 番地								
傷病名									
紹介目的									
既往歴及び家族歴									
症状経過・治療経過及び検査結果									
現在の処方及び備考									

FAX (096) 323-7601 ① 送信用 FAX 用紙及び紹介元控

■ 研修のご案内 ■

第60回 三木会（無料）

（糖尿病、高脂血症、高血圧を語る会）

[日本医師会生涯教育講座3単位認定]

[糖尿病療養指導士認定更新0.5単位認定]

日時▶平成18年8月17日(木)19:00~20:45

場所▶国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

1. 副腎腺腫摘出後に治療したCushing症候群に伴う糖尿病、高血圧症の1例
国立病院機構熊本医療センター総合医療センター内分泌・代謝内科
山村 明子、市原ゆかり、児玉 章子、高橋 毅、小堀 祥三、東 輝一郎
 2. 糖尿病合併慢性心不全患者へのβ遮断薬導入後の血糖コントロールは大丈夫か？
国立病院機構熊本医療センター心臓血管センター循環器科
宮尾 雄治、福嶋隆一郎、田中 朋子、村上 和憲、藤本 和輝
 3. DPC導入による糖尿病教育入院クリティカルパスの見直しとその医療経済への影響
国立病院機構熊本医療センター総合医療センター内分泌・代謝内科
小堀 祥三、市原ゆかり、児玉 章子、高橋 毅、東 輝一郎
- なお、興味のある症例、疑問・質問のある症例がございましたら、お持ちいただきますようお願い致します。
【問合せ先】 国立病院機構熊本医療センター総合医療センター内分泌・代謝内科 小堀 祥三・東 輝一郎 TEL 096-353-6501 (代表) 内線796

第91回 月曜会（無料）

（内科症例検討会）

[日本医師会生涯教育講座3単位認定]

日時▶平成18年8月21日(月)19:00~20:30

場所▶国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

1. 胸部X線写真供覧 国立病院機構熊本医療センター総合医療センター呼吸器内科医長 森松 嘉孝
 2. 持ち込み症例の検討
 3. 症例呈示「腎機能悪化に伴ったジキタリス中毒の症例」
国立病院機構熊本医療センター総合医療センター腎センター 宮中 敬
 4. ミニレクチャー「内視鏡的粘膜下層剥離術について」
国立病院機構熊本医療センター消化器病センター 押方 慎弥
- 日頃、疑問の症例、興味のある症例、X線写真、心電図等がございましたら、ご持参下さいますようお願い致します。
【問合せ先】 国立病院機構熊本医療センター副院長 河野 文夫 TEL:096-353-6501 (代表) FAX:096-325-2519

第78回 救急症例検討会（無料）

日時▶平成18年8月23日(水)18:30~20:00

場所▶国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

症例検討「精神科救急疾患」 国立病院機構熊本医療センター総合医療センター精神科医長 渡邊健次郎
医師、薬剤師、看護師、放射線技師、臨床検査技師、栄養士、救急救命士、救急隊員、事務部門等全ての医療従事者を対象とした症例検討会です。医師以外の方にも理解できるよう配慮した内容にしています。
【問合せ先】 国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター事務局 TEL 096-353-6501 (代表) 内線263 096-353-3515 (直通)

■ 研修日程変更のお知らせ ■

9月30日開催予定の第104回看護卒後研修「院内感染防止」は9月2日(土)13:30~16:30に変更になりましたのでお知らせ致します。

【問合せ先】 国立病院機構熊本医療センター 看護部「看護卒後研修」受付係 TEL 096-353-6501 (代表) 内線213

ホームページをご利用下さい。診療、研修、研究など情報満載です。

国立病院機構熊本医療センター ホームページアドレス <http://www.hosp.go.jp/~knh/>

平成18年 研修日程表 8月

国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

8月	研修ホール	会議室	その他
1日(火)		18:00~19:30 血液病懇話会(図)	8:00 救急部カンファレンス C 15~18 外科術前後症例検討会 C
2日(水)		16:00~18:00 皮膚科組織検討会(図)	17:00 消化器疾患カンファレンス C 7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 18~19 代謝内科カンファレンス M
3日(木)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
4日(金)			
5日(土)	9:00~18:10 第21回 ナースのための人工呼吸セミナー(会費制) <講演> 1. 呼吸生理と血液ガス 名古屋市立大学大学院医学研究科危機管理医学教授 勝屋 弘忠 2. 呼吸管理と看護のポイント 国立病院機構熊本医療センターICU室長 瀧 賢一郎 3. 慢性呼吸不全に対する非侵襲的人工呼吸と管理 国立病院機構熊本医療センター呼吸器内科医長 森松 嘉孝 4. 各種病態における呼吸不全の治療 山口大学大学院医学系研究科救急・生体侵襲制御医学講師 鶴田 良介 <実習> 人工呼吸器の取り扱い実習		
6日(日)	9:00~12:30 第67回 ナースのための救急蘇生法講座(会費制) 講師 国立病院機構熊本医療センター麻酔科部長 江崎 公明 ほか		
7日(月)			8:00 MGH症例検討会 C 16~18 泌尿器科病棟カンファレンス 別6 17~18 小児科カンファレンス 外来
8日(火)		18:00~19:30 血液病懇話会(図)	8:00 救急部カンファレンス C 15~18 外科術前後症例検討会 C 19~21 泌・放射線科合同ウロプログラム C 17:00 消化器疾患カンファレンス C
9日(水)	13:00~17:00 国立病院機構本部九州ブロッククリティカルバス実践研修会(1日目) 18:00~19:30 第43回 国立病院機構熊本医療センタークリティカルバス研究会(公開) 9:00~14:30 国立病院機構本部九州ブロッククリティカルバス実践研修会(2日目)		
10日(木)			7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 18~19 代謝内科カンファレンス M
11日(金)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
14日(月)			8:00 MGH症例検討会 C 16~18 泌尿器科病棟カンファレンス 別6 17~18 小児科カンファレンス 外来
15日(火)		18:00~19:30 血液病懇話会(図)	8:00 救急部カンファレンス C 15~18 外科術前後症例検討会 C
16日(水)		16:00~18:00 皮膚科組織検討会(図)	17:00 消化器疾患カンファレンス C 7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 18~19 代謝内科カンファレンス M
17日(木)	19:00~20:45 第60回 三木会 (糖尿病、高脂血症、高血圧を語る会) [日本医師会生涯教育講座3単位認定] [糖尿病療養指導士認定更新0.5単位認定]		
18日(金)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
21日(月)	19:00~20:30 第91回 月曜会(内科症例検討会) [日本医師会生涯教育講座3単位認定]		
22日(火)	18:30~20:30 血液研究班月例会	18:00~19:30 血液病懇話会(図) 19:00~21:00 小児科火曜会	8:00 救急部カンファレンス C 15~18 外科術前後症例検討会 C
23日(水)	18:30~20:00 第78回 救急症例検討会 「精神科救急疾患」	16:00~18:00 皮膚科組織検討会(図)	17:00 消化器疾患カンファレンス C
24日(木)			7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 18~19 代謝内科カンファレンス M
25日(金)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
26日(土)	14:00~16:00 第191回 滅菌消毒法講座《会員制》 「滅菌業務の最新情報」 東京医療保健大学医療情報学科感染制御学教授 大久保 憲		
28日(月)			8:00 MGH症例検討会 C 16~18 泌尿器科病棟カンファレンス 別6 17~18 小児科カンファレンス 外来
29日(火)		18:00~19:30 血液病懇話会(図)	8:00 救急部カンファレンス C 15~18 外科術前後症例検討会 C
30日(水)	19:30~21:30 臨床口腔外科講演会 座長 菊池郡市歯科医師会長 中山 精文 「舌疾患の鑑別診断」 福岡歯科大学全身管理・医歯学部門 口腔・顎顔面外科学講座口腔外科学分野教授 池邊 哲郎		
31日(木)		16:00~18:00 皮膚科組織検討会(図)	17:00 消化器疾患カンファレンス C 7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 18~19 代謝内科カンファレンス M

(図) 図書室 C 病院本館2階カンファレンス 手 手術室控室 臨 臨床研究部会議室 別6 別6病棟 外来 小児科外来 M ミーティングルーム

問い合わせ先 〒860-0008 熊本市二の丸1番5号 国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター

TEL 096-353-6501(代)内線263 096-353-3515(直通)